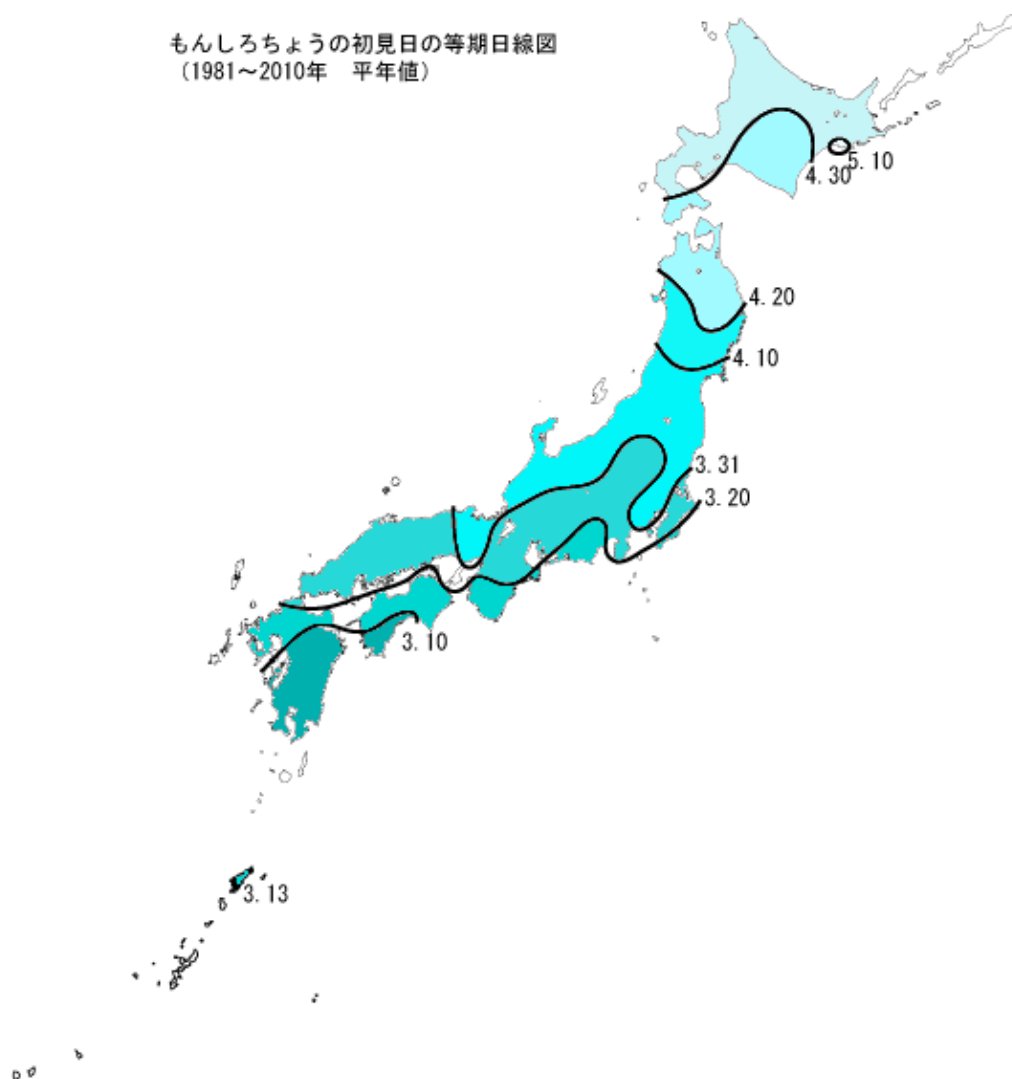


もんしろちょうの初見日



もんしろちょうの初見日とは、春にもんしろちょうを初めてみた日をいいます。もんしろちょうはほぼ日本全土にわたって分布し、寒冷地では年に2回、暖地では7～8回発生するといわれています。幼虫はキャベツ、ハクサイなどの栽培植物を好んで食べます。翅の色は、雄は白っぽく、雌は雄よりやや黒色をしています。

もんしろちょうの初見日の等期日線図
(1981～2010年 平年値)



もんしろちょうの初見は、3月上旬に九州地方や四国地方南部で始まります。3月20日に九州地方北部、四国地方北部、近畿地方南部、東海地方南部を結ぶ地域、3月31日に中国地方、近畿地方、東海地方、関東甲信地方を結ぶ地域に達します。その後、北陸地方、東北地方を北上し、4月下旬から5月上旬に北海道地方に達します。